

災害報告書

災害-3

災害発生日時	平成2011年 7月 9日		14時 分頃	
災害発生場所	景信山北側作道		班 名	A班
被災者の氏名	■■■■■■■■■■	性 別	男	年 齢 70 歳 入会年数 2年 ヶ月
作業種別	作業終了後 ベースに帰投中		使用道具	
怪我の部位及び状態	熱中症とみられる。(軽症)			
◆災害発生状況	※出来るだけ詳しく記入してください。			
<p>6人の小グループで下山中 当人の足取りがフラ付き始めたのを後続のメンバー数人が気づいた。リーダーは全員を停止させ、木陰で腰を下ろさせ休憩。当人は意識レベルが下がっており顔色も蒼白、呼吸も乱れていたヘルメットを脱がせ、着衣を緩め汗をぬぐい、体温低下に努める。幸いベテランぞろいで、熱中症の経験者もさせた水を携帯していたメンバーが数人いたことから、両脇に凍結ペットボトルを抱かせ、首の後ろを冷やし、(数人が携帯)で仰いでいるうち、容態が改善。30分ほどで顔色、呼吸、脈拍も落ち着いたため。注意しながらメンバーとともに自力で帰投。</p> <p>早期に異常に気づいたため転倒せずに済んだが、急斜面であったため転倒すれば大事に至る恐れもあった。</p>				
◆災害発生原因	※出来るだけ詳しく記入してください。			
猛暑下でのオーバーワーク				
◆災害再発防止対策	※事故に遭われこうすれば事故が起きなかったと貴方が感じた防止策を色々お書き下さい。			
<p>6～8月にかけての下草刈り作業は、猛暑の炎天下になるため毎年きつい作業となる。特に作業地が離れた場合は往復の距離や高度差を考慮しながら作業計画を立てなければならず。この時期は作業終了後、上りのことは体力の消耗を招くため避けたい。</p> <p>この時期は作業の完成度を目標にせず、木陰での休憩をこまめにとり、給水を十分にとりさ行を楽しむくらいほしい。</p> <p>凍らせたペットボトル、「うちわ」は必携品。</p>				
リーダー名	■■■■■■■■■■		報告者名	■■■■■■■■■■

※災害(事故)報告は些細な怪我も出来るだけ報告してください。事故再発防止に役立ちます。